



紀宝町

議会だより

平成25年6月1日発行
(第26号)



田植え体験（神内）

議 会 日 誌

平成25年1月～3月

- | | |
|--|-------------------------------------|
| 1月 7日 紀宝町立成川小学校新校舎開校式 | 19日 第1回定例会・第3日目 |
| 27日 熊野川河口に橋を架ける会要望・提言活動
(国土交通省)〔28日迄〕 | 21日 第1回定例会・第4日目 |
| 30日 議会運営委員会 | 22日 第1回定例会・第5日目 |
| 2月 5日 紀宝バイパス現地見学会 | 24日 紀勢自動車道(紀勢大内山IC～紀伊長島IC)
開通式 |
| 12日 第1回臨時会 | 25日 災害復興対策特別委員会 |
| 14日 港湾・井田海岸浸食対策特別委員会 | 26日 紀南病院組合議会定例会(御浜町) |
| 15日 三重県町村議会議長会理事会(津市) | 紀南介護保険広域連合議会定例会(熊野市) |
| 18日 三重県後期高齢者医療広域連合議会定例会(津市) | 紀南社会福祉施設組合議会(熊野市) |
| 19日 紀南環境衛生施設事務組合議会定例会(新宮市) | 紀南特別養護老人ホーム組合議会(熊野市) |
| 20日 自治体議員研修会〔第2回〕(津市) | 南牟婁清掃施設組合議会(熊野市) |
| 26日 総務産業常任委員会、議会運営委員会
全員協議会、教育民生常任委員会 | 27日 東紀州農業共済事務組合議会全員協議会・定例会
(熊野市) |
| 3月 5日 第1回定例会・第1日目 | 紀宝町保健対策協議会 |
| 18日 第1回定例会・第2日目、議会運営委員会 | 29日 南牟婁郡交通安全対策協議会委員会(御浜町) |

3月定例会 一般質問

(要約)

平成25年第1回紀宝町議会定例会は3月5日に開会しました。

第1日目は、初めに、議長報告と各委員会委員長報告があり、次いで、町長から、新年度大綱説明及び各般についての行政報告がありました。その後、議案審議に入り、公平委員、教育委員の人事選任案件の他、条例の一部改正案件、更に平成24年度補正予算案件など合計14件の議案を原案通り可決しました。

第2日目の18日、第3日目の19日及び第4日目の21日には、一般質問が行われ10人の議員が、町行政等について当局の考え方を質しました。一般質問終了後、平成25年度一般会計予算案件が原案通り可決されました。第5日目の22日には、平成25年度特別会計予算案件6件と平成24年度補正予算案件1件の他、津本防災センター条例制定など合わせて24件の議案を原案通り可決。その後、1件の決議を可決し閉会しました。

企画調整課長

25年度に予定されております。高速道路の開通は、東紀州地域に集客を図る絶好のチャンスと考えております。近年、注目を集めている神内神社、井田観音、平尾井薬師を絡めた情報発信を行い、更に毎月第3土曜日に紀の宝みなと市を開催し、集客につなぐ取り組みを進めています。

議員

紀宝町ウミガメ公園に關し、人が増えた場合の対応はどうですか。

企画調整課長

物産館のほうの、地産地消商品と観光お土産関係の商品が、品切れ等ないように、レジシステムの強化を講じて参りたいと思っております。

議員

高速道路がついてからも、よく現状を把握しながら紀宝町の振興になるように、いろんな施策をお願いします。

市川 潔 議員



- ・表彰規定について
- ・高速延伸対策について
- ・町長の政治姿勢について

災害表彰規定書見舞金

議員

紀宝町出身で昨年11月の第60回全日本剣道選手権で優勝した木和田さんに、町民栄誉賞等の表彰規定を含めて、当局の考えをお願いします。

総務担当理事

近隣市町におきましては条例や規則などにより、表彰に關する規定が整備されておりますが、本町では、いまだに整備されておりません。今後は表彰規定を整備し、町民の皆さまにとっても自慢や励みになるよう個人、または団体などに対しまして、表彰させていただくことができるように努めて参ります。

議員

整備に關して、いつ頃を目処に、どのようなお考えでされる予定なのかお聞きします。

総務担当理事

私どもの町だけが、整備ができていないという現状がございますので、できる限り早くという事で考えております。

議員

町長のご理解もいただかないといけませんので、町長のご答弁をお願いします。

町長

町政の振興発展のために文化的に、あるいは社会的に貢献いただいた皆さま方には、感謝をしていく、そのことも

高速延伸対策

議員

25年度内に熊野市までの高速道路開通予定とのことだが、紀宝町の集客について、どのようなことを当局は考えていますか。

政治姿勢

議員

町長の任期も一年を切り、3年間の町長の思いと、在任

期間の町政への思いについて町長のお考えは。

町長

特別養護老人ホーム亀楽苑の建設や高齢者の地域見守り隊の結成。飯盛、井田両保育所の新築、それから子育て支援センター、ファミリースポーツセンターの開所、福祉の店アプローチ、あるいは各学校の耐震化、成川小学校の改築工事、浅里営農飲雑用水施設、リサイクルセンター等の循環型社会の構築、小学校卒業時及び中学校卒業時までの医療費助成の拡大、新相野谷トンネル井内地区の改良と紀宝川瀬線の整備、近畿自動車道紀勢線の延伸、町道、林道、農道等の整備促進、それから自主防災組織の育成、また石川県の中能登町との防災時の相互応援協定の締結。防災ラジオ、防災資機材の配置等、安心安全で快適に暮らせる町づくりの実現に向けて積極的に取り組んでまいりました。

本年の補正予算、あるいは新年度予算に計上している各事業を実施するなかで防災減災に努め、子々孫々に誇れるような町の構築に総力を挙げて取り組んでいかなければ

ならないと思っております。

また念願であります熊野川河口大橋の早期実現への取り組み等、生活基盤、地域振興の根幹であります道路等の社会资本、社会基盤の整備促進を積極的に進めてまいりたく考えております。

次期町政への想い

議員

続きまして次期町政への想いをお訊ねします。

町長

私は、これまで施策の多くの種を捲いてまいりました。これからは、五穀豊穡を願って、皆さま方と相談しながら育てて参りたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

議員

私どもの近くにおられる方々からの会話のなかにも、「また町長は次に出てもらえらんかいのう」というお話を聞かせていただきますので、そのようなことを踏まえて、もう一度お訊ねします。

町長

熊野川河口大橋、これの実

現に向けては私も個人的な政治生命として、進めて参りたいと思っております、またこれから夢もたくさんございますし、施策もあるわけでございます。花咲き、実を結実するように努力をしていくということも大変大事だと思っております、これからのように育てていくか、真剣に皆さま方ともご相談をさせていただきます。検討してまいりますと思えます。

議員

早い時期に町政の想いを聞かせていただき、今町長の想いの中で、本当に強い想いがあるというように伝わってきたことをありがたく思います。



西村 喜久男 議員

・紀宝バイパス開通に向け安全対策、渋滞対策について

他

安全対策

議員

成川インターでの高齢者の方や、初心者の方、また道路状況に慣れていない方の交通事故が心配されます。警官や交通指導員の方を配置していただくとかの対策はどのようにお考えですか。

産業建設課長

国土交通省と警察が協議を進め道路交通法に基づく安全対策等を考慮しながら道路標識、区画線等の整備が進められています。現段階では、トンネル内やインター合流付近に「合流注意」などの看板を数箇所設置し、運転者に注意喚起する安全対策を講じていくと伺っています。また、供用開始直後には、交通指導員を配置し利用者が戸惑うことなく、通行できるよう努めると伺っています。

渋滞対策

議員

開通しても和歌山県側の渋滞対策をやっていたら

ないと、今までの以上の渋滞が懸念されます。渋滞発生時間帯の信号機動作制御やリバーシブルレーンなどの対策をテスト的に実施してみる事についてどの様にお考えですか。

産業建設課長

リバーシブルレーン（可逆車線）とは、全幅3車線以上の道路で中央線の位置を時間帯によってずらし交通量が多い方向の車線を特定の時間帯に増やす様な交通規制ですが、反面、正面衝突事故の危険性もあります。信号機については、国道42号熊野大橋付近から新宮港付近まで系統化されており、バイパス開通後は、調整に努めてまいりたいとのこと。

獣害対策のメンテナンス

議員

阪松原、平尾井など、町内他の地区でも見受けられますが、電気柵や獣害対策ネットなどが強風や雨により劣化支柱の折損、ネットの破れなど見られます。規

定された耐用年数の前に不良となつています。強い材質に改良する等の対策も必要と思います。今年の作物に対しての被害対策はどのようにお考えですか。

産業建設課長

耐用年数前に不良となつている電気柵等につきましては、その施工方法に問題がなかったかなどメーカーや関係機関と相談しながら適正な維持管理に努めております。今後も優先度の高いところから、対応してまいりたいと思います。

議員

獣害対策についてもシルバ―人材の活用をしていただいて、高齢者の方や小営農の方に支援していただく取り組みについてはどうでしょうか。

産業建設課長

シルバ―人材の活用についても今後具体的に状況把握しながら考えてまいりたいと思います。

災害復旧復興

議員

高岡地区の団地について、

国が考えている台風災害の復旧、復興事業では買取りや、代替地のことは考えられないようですが、町としてどのようにお考えですか。

産業建設課長

国の河川事業としては買取りとかの補償制度はございません。町としてもそれに沿ったかたちで進めてまいりたいと考えます。

議員

解決していただくためには誠意ある話し合いが必要だと思いますけれど、今後の予定はどのようになっておりますか。

産業建設課長

平成24年6月27日から12月6日までの間、約26世帯の方々に団地の各戸へ訪問させていただき、それぞれの生活実態の状況等、今後の対応についてご意見を伺ってきたところで、それらを踏まえた上で、国、県と、さらに協議をして進めてまいりたいと思います。

町長

高岡地区については、あり方検討会においてその方向性を示させていただきました。しかし、全員の方のご理解ご

協力をいただくというのも難しい状況にあります。これからも、あり方検討会において、どうかたちの復旧復興がいいのか議論し、協議をしながら次のステップに進んでいく必要があると思っております。いずれにいたしましても、国が主体になってやっても、国が主体になってやっても、国の整備方針に従って進めていかなければならないと思っております。これから全国各地のそういう状況等についても調査するなかで、より良い方法があれば取り組む必要があると思っております。

議員

今回、国や県等の災害査定から外れた急傾斜地や土石流危険箇所についての予防対策の取り組みはどの様になつておりますか。

産業建設課長

台風12号において、住家の裏が崩れた等の被害について軽微な箇所も含め約65箇所あり、そのうち公共事業において緊急性の高い箇所から優先的に工事を実施しており、工事を行った箇所は、急傾斜事業6箇所、治山事業12箇所、町単独事業を含む障害物の除去13箇所

となつております。これらの箇所以外につきましては、各事業の採択要件を満たしていないことから、公共事業では工事が行えないのが実情でございます。個人ではなかなか復旧工事を実施して行くことは難しい所もあると思われまので、急傾斜事業、治山事業等の公的支援の採択基準緩和について今後も引き続き要望してまいりたいと思います。

※この他に、大里京城跡地の文化財保存と管理について、生活習慣病の予防についての質問がありました。



塩野 真 議員

- ・防災について
- ・人口減少の対策について

防災について

議員

一人の犠牲者も出さないということは、それぞれの意識で可能な限り逃げるといこととです。避難の際この場を離れていいのか葛藤すると思いますが職員が逃げなければ、そして助からなければ大変なことにもなることも東北から学びました。地震の際は必ず地域の率先者として逃げていただきたい。職員の防災の研修等、防災教育というのはどのように実施されていますか。

防災担当理事

居住地域の自主防災活動に参加して、地域の実情に応じた防災の勉強をしております。発災時、職員がどういう行動を取るのか今後計画等を作成したいと思っております。

議員

東日本大震災時、三重県内で平均2.8%しか避難していません。こんなに人が逃げない所では釜石のような奇跡は起こらないと三重大学の川口先生が仰ってました。今後の防災教育の取り組みを教えてください。

教育課長

津波を想定した避難訓練等の実施、児童引渡し方法の確立、緊急時の職員体制の確立、避難場所等を確認しながらの町歩き。保護者、地域との連携作りです。

議員

子どもが判断し、逃げなければ助かりません。津波高や想定に捉われて不安を煽ってしまうのではなく、理解させて防災意識を育てていく教育を行ってほしいと思います。教育機関だけでなく、町、自治会や自主防災組織、PTAも巻き込んでいく必要があります。皆の問題としてとらえその連携のきっかけ作りをお願いしたいと思います。

議員

次に、沿岸部と高台、それぞれ取り組み、意識も違うのは当然です。高台の方が沿岸部にいる時、確実に逃げられるかどうか課題だと思います。例えば「鵜殿で買い物をしている時に地震」という想定で自主防災組織の地区や枠を超えた訓練も今後必要ではないでしょうか。

防災担当理事

尾鷲では市全体で山が海を助けるという合言葉の下に活

動している自主防災組織もあると聞いております。当町でもそういう意識も持って町全体で取り組む仕組み作りが必要だと思っております。

議員

公共施設をいかに使っていくのか、普段から考えておかなければならぬと思います。津波の時は避難できないけど、津波が引けば避難所として2階部分が使えるところはなにか。井田公民館の2階、成川小学校の2階、社会福祉協議会の2階、矢渕の上層階、武道場など。想定をして多少の備蓄をしておいてもいいのではないのでしょうか。地震が起きて、避難所まで逃げさえすれば食べものの備蓄もある、人もいる、情報も得られる。そんな場所が家の近くにあることが、日常生活の安心材料にもつながります。それぞれの地区のニーズにあった施設の役割作り、指導をお願いしたいと思います。

人口減少対策

議員

県南部地域では人口減少、

しかも若い世代の減少が深刻な問題となっております。当町においても将来町を支えていくためには、このままの状態だと活気が薄れ、先細りしていくのは当然の結果だと思います。私たち住民一人ひとりが危機感を持って、みんなでこの問題をなんとかしようという気にならなければならぬと思います。子育て支援、医療・住宅・現在様々な優遇策は当町でもやっていただいています。しかしながら結果的に人口が増えなければ、ただ施策をやっているだけに過ぎないと私は思います。町外からいかに紀宝町へ人を呼びこみ、数字として人口を確実に増やしていくのか、どのように取り組んでいかれますか。

福祉課長

町内の子育て世代、若い世代の方に本当に安全に安心して子育てができるような環境を作っていくことも大事だと思います。その地道な積み重ねが結果として、町外から来ていただけることに繋がっていくと思います。

教育長

子どもが安心して学習でき

る安全な学校を作ることが大事だと思います。小学校は通学区域が緩和され、どの学校へも行けます。毎年サマースクールを開校し、中学校は職業体験、キャリア教育に力を注いでおります。青少年の健全育成、スポーツ少年団の活動支援、元気キッズ等を今後も行つてまいります。

企画調整課長

当地域の就労は東紀州地域雇用創造推進協議会を設置いたしまして、就職相談会等も開催しております。井内工業団地への企業誘致等にも積極的に取り組みたいと考えております。

議員

住宅に関して、固定資産税の減免があります。しかしそれだけで、人が移り住んで家を建てるかという点と難しいと思います。毎月の住宅ローンの返済、家賃の支払いは収入から確実に抜けていくお金であって節約のしようがありません。子育て世代向けの安価な住宅、また水害、土砂災害、津波浸水予想地域の独居老人、要援護者のための安全な住宅としても高台に町営住宅建設の必要を感じます。



山本 精一 議員

・旧役場庁舎の解体時期について

・踏切の拡張について

他

旧役場庁舎の解体時期

議員

旧役場庁舎横の町道は、幅員が狭く、国道からの進入車両と町道側の信号待ち車両のすれ違いが困難な状態です。そこで、耐震化補強されていない旧役場庁舎を解体し、拡幅してはどうかでしょうか。成川中村地区は高齢化も進み、老人介護施設もあります。また成川保育所、上地集会所が避難所であることから町道の拡幅は欠かせません。町長に伺います。

町長

早期撤去を考えておりますが、合併後の優先順位の中で、必要なものから先に取り組みをさせていただいており、ご理解を賜りたいと思います。少し入ったところの二箇所については、地域の皆様、地権者の皆様のご協力をいただき車が離合できる状態に改善された箇所もございます。この道路は災害時の緊急避難に利用され、また、成川小学校の子どもたちの通学路の役割を果たしております。分庁舎の解体が終了次第、道路の拡幅をし、安全安心に努めていきたいと思っております。

議員

参考に伺います。分庁舎の解体費用を見積もったことがありますか。

総務担当理事

設計士に相談したところ概算で約3千万円かかります。

議員

これからも安全を図るために町道の拡幅することに積極的に取り組んでいただきたいと思います。

踏切の拡張

議員

鵜殿地区のヤマモク様横の踏切は幅員が狭く、時間帯によっては渋滞が発生しています。踏切の拡張は難しいといわれていますが、その理由を教えてください。

産業建設課長

この踏切につきましては、接続道路が前後とも2車線で整備されておりますが、踏切内は1車線で、交互通行がでさずに混雑しているのが現状です。また避難路として位置付けられていることから、鉄道事業者と拡幅協議を進めておりますが、協議は平行線をたどっているのが現状でございます。今後も、踏切拡幅の実現に向け、鉄道事業者等に対して強く要望をしてまいりたいと考えております。

議員

この踏切は狭いため、災害時の避難の際には通行が困難になる恐れもあり、JRの考え方もあるでしょうが、町長はどうお考えでしょうか。

町長

これまで幾度となく、強く要望しておりますが、JRとしては、踏切については立体交差として欲しい旨の主張で

あり、我々も非常に頭を悩ませているところでございます。地域の皆さま方のご期待に込められるよう、今後も取り組みを鋭意進めてまいります。

議員

諦めずに早期解決を図られますよう望みます。

固定資産の適正評価

議員

総合計画には「適正な評価による公平な賦課を図るため、土地や建物に関する定期的な調査を行います。」とありますが、現在の固定資産税の土地評価額は販売価格より高いのではないかと。土地や家屋の評価額は固定資産税、不動産取得税、登録免許税を決める基礎であり重要であります。理事にお伺いします。

住民サービス担当理事

固定資産税につきましては、現状に応じて課税をさせていただいております。また3年に一度の評価替えを行い、価格の変動を反映するとともに、平成23年の台風12号など、土地の価格が大きく下落する場合には、適性価格となるように対

応させていただいております。

議員

不動産業者、売買関係者から情報収集し、町として不動産鑑定士に意見を伝え、評価替えを進めていく必要があるのではないのでしょうか。

住民サービス担当理事

情報収集としましては、町民税を含めた所得税の申告の受付をさせて頂いたなかで、土地の譲渡関係も何件か把握しております。不動産鑑定士にも、売買実例価格を調査し、たうえて評価をしていただいております。

収納率の向上

議員

「収納率の向上に向け、口座振替の推進を図ります。また三重地方税管理回収機構と連携し、差し押さえも含めた滞納整理を推進します。」とありますが、町民税、固定資産税の収納率が年々悪化しております。担当理事にお伺いします。

住民サービス担当理事

これを反省し、収納率向上を目指していけるような環境

づくりをしていきたいと思っております。

議員

税務課の収納確認画面は、滞納額だけが載っているだけです。その奥には家族の顔や、病気で苦しんでおられる方もおります。私はなぜ滞納整理を遂行して欲しいか。それは滞納されている方への救済です。訪問により失業されている方には求人情報の配布、病気をされている方には福祉課と連携し手続きをとってもらいたいからです。また国民健康保険税の滞納整理を実施してほしいのは、加入者に最低でも1ヶ月以上の保険証を持つて欲しいからです。1ヶ月証が未納になったら資格証です。苦勞を重ね相手と気持ちを通じなければ徴収はできません。膝と膝をつき合わせ寄り添う気持ちが必要ではないかと思っております。保険証の更新時には訪問をしておりますか。

住民サービス担当理事

家庭を訪問して、お話を伺うということが一番良いのですが、現実的には行なえない状況でございます。

※この他に、町への土地譲与について質問がありました。



高垣 操男 議員

・防災減災対策について

防災減災対策

議員

阪神淡路大震災で亡くなった方の8割が、家が倒壊し圧死されたといえます。家が倒れ圧死する点を踏まえて質問させていただきます。

紀宝町内で耐震診断の対象となる件数を分ける範囲で結構ですので何件くらいありますか。

防災担当理事

24年1月1日現在でございますけれども、寝食を有している件数としては295

4件が対象になると思っております。

議員

そのうちで耐震診断を受けたという家は何件くらいですか。

防災担当理事

24年末現在で111件となっております。その中で耐震補強をさせていただいています件数は2件ございます。

議員

もう一つ耐震シェルターっていうのもあるんですよね。一個だけというか一箇所だけ。それには何件やられたんですか。

防災担当理事

それにつきましては、耐震ベッドの利用として2件ございます。

議員

次に家庭の家具の固定をやったのは何件くらい分かかりますか。

防災担当理事

家具固定につきましては、65歳以上の世帯ということもございまして、123件利用させていただいております。

議員

数字本当にありがとうございます。

います。かなり少ないですね。なぜこう進まないか、ちょっと何か思い当たる点がありましたら。

防災担当理事

耐震補強については高額な費用がかかってきますので、利用件数が少ないかなという気もしております。また自分なりに補強していただいた家

もあるのではないかなと思っております。そして耐震診断

等につきましては、やはり周知させていただくにあたって、広報等での折込で周知を

しておりますが、徹底した周知ができていないのかなという

気もしております。そのため24年度からは町内にいくつかの

自主防災組織を設立していただいておりますので、自主

防災会議のなかで周知を図っていく

ということと、昨年もある自主防災組織で推進さ

せていただきました結果、20件余りの申し込みをいただい

ております。今後も自主防災

組織単位での周知を図りたいと思

います。

議員

今後さらなる周知活動を

要望します。耐震化するため

には、やはり費用もかかりま

すし、また「もう子どもも来

るわけじゃなし、わし一代や

さかいに、もうええんや」と

言う声もかなり地域の人から

聞かれますので、もう一度

伺いますけど、これからさら

に、どのように進めていくよ

うに考えてみますか。

議員

地域地域に入って必要性を

訴えてまいりたいと思ってお

ります。昨日国のほうから想

定も出ておりますけれども、耐震化や出火防止対策等をとっていたら、その被害が相当軽減するんじゃないかというふうにも報道されております。今後理解をいただけていきますか、きめ細かく周知を図っていきたくと思っております。

防災担当理事

一人も犠牲者をださないと

いう思いで、町長一言ありま

したら。

町長

おっしゃっていただきまし

たように耐震診断も広くPR

させていただいてますけれど

も、昨日のご質問にもござい

ましたように、今日の新聞を

見ておりましたも大変大きな

南海トラフによる被害が発生

するということがいわれてお

ります。防災減災に対して、

また津波地震に対して、意識

の高揚といいますか、皆が逃

げなければ逃げないというふ

うな思いもしています。避難

の率先者たれということもご

ざいます。やはり地域のなか

で、また自主防等通じて、誰

かが避難すれば、皆が従って

避難できるという体制を作

っていくことによつて減災防

災に対する意識も高くなって

くるのではないかなという思

いもしています。これから

も、ご指摘のように自主防災組織等、町内全域等通じて、防災の研修や講演等いろんな機会を通じながら、危機管理の意識の向上に向けて町としても、努力をしてまいりたいと思

思います。

※この他に、災害弱者への

対応について、防災意

識の向上について、いじ

め対策について、給食に

ついての質問がございま

した。



原 章三 議員

生活保護基準の引き下げについて

・定住対策について

他

層鮮明になっております。町長の考えはいかがですか。

町長

一番心配しているのが今後の社会保障のあり方です。幅広く推移を見ながら対応していきたいと考えております。

議員

三重県下での生活保護率は昨年7月で0.96%、13,027世帯、17,761人が受給者となっています。紀宝町ではどうなっていますか。

福祉課長

0.67%です。

議員

生活保護基準の引き下げ

議員

安倍政権が発足して、昨年、田村厚労相が「生活保護基準を引き下げる」と記者会見で明らかにしました。安倍政権が先ず行おうとしているのが社会保障の全分野での給付の抑制で、予算の削減が本格化しております。介護、医療、年金、保育等、全てターゲットにされており、富む者はより裕福に貧しい者はより貧しくといった二極構造が一

活保障の進め方を、十分検討し国等にも意見具申をしたいと思いますと考えています。

議員

生活保護制度は社会の岩盤であり、その岩盤が地盤沈下をしていくと最低賃金が引き下げられ、一般社会の賃金がどんどん下がっていく事になります。また教育、社会保障などあらゆる分野で地域経済の崩壊が引き起こされかねません。今後の町政運営を沈下しないよう行ってもらいたい。

町営住宅

議員

今まで町営住宅建設について町は、一貫して建設予定はないと答弁しているが、その原因は何ですか。何故建てようと思わないのか、お答えください。

産業建設課長

町内には多くの賃貸住宅があり、町営住宅となると財政面、維持管理等からも考えて予定はないという考えです。

議員

災害時、更に暮らしが脅かされる中で新たに家を購入す

る事ができない人々に低家賃の公営住宅を建てる事が今日、求められています。国の生活

町長

再建支援金は2百万円で家の再建は絶対無理。今、民間アパートを借上げて入居されている人のために町営住宅は必要と考えますがいかがですか。

議員

地域経済の活性化、民間賃貸住宅等も勘案しながら生活の場を提供して総合的に進めていきたいと思っています。

子育て支援

議員

今、全国1222の自治体で小中学校に対する給食費の全額無料化が行われています。近隣では和歌山県高野町が子育て支援の施策として行っています。当町においても行うべきではないですか。

教育課長

25年度では小学校での保護者負担は、約2千3百万円で町の財政負担等検討する必要があります。現在考えておりません。

議員

本来学校給食費は教育費のひとつで国が全額負担すべき

課題と考えます。しかし国は教育費の無償は授業料の意味として給食費については有償としています。しかし学校給食費は教育指導のひとつとして位置づけられるものと考え無料化にすべきと考えますがいかがですか。

教育長

私個人は、無償化になればいいと考えます。しかし町単位でなく行政の一人として訴えていきたいと考えています。

議員

今、学校内での給食時に出される牛乳は希望制となっています。今日新たな貧困問題が大きな課題となっているなか子どもの精神的な面から考えても、せめて牛乳くらいは全児童にいきわたるようにすべきだと思いますがいかがですか。

教育課長

現在、小学校児童数640名中、239名、約38%の児童が飲んでいません。今後色々な支援制度の中で新しい施策として検討協議を進めてまいります。

議員

現在、小学校児童数640名中、239名、約38%の児童が飲んでいません。今後色々な支援制度の中で新しい施策として検討協議を進めてまいります。

議員

現在、小学校児童数640名中、239名、約38%の児童が飲んでいません。今後色々な支援制度の中で新しい施策として検討協議を進めてまいります。

議員

現在、小学校児童数640名中、239名、約38%の児童が飲んでいません。今後色々な支援制度の中で新しい施策として検討協議を進めてまいります。

熊野川河口大橋

議員

3. 11巨大地震の教訓として巨大な津波に対して堤防など100%安全と云われるものはないと云われています。そうしたなかで何故、河口に大橋を建設するのかと疑問視されています。莫大なお金をつぎ込んで大丈夫なのか、他のルートはなかったのか、ご説明ください。

企画調整課長

熊野川大橋については住民アンケート等を参考にして災害時の適応性、産業振興への寄与など鑑み国交省において海側ルートが妥当であると判断されたものです。

紀宝バイパス

議員

紀宝バイパス完成後の鮎田大里方面から新宮方面への進入ルートの助走路が短く更にトンネルの交通量が増える中、高齢者が安心して乗り入れできるのか心配です。開通前に地域住民にきちんと説明を行っていただきたい。

産業建設課長

必要に応じて国交省と対応してまいります。

※この他に、獣害対策について、羽山地遺跡と京城跡について、給食についての質問がありました。



大前 森重 議員

・近畿自動車道紀勢線
開通に向けた、本町の
振興について

開通に向けた 本町の振興策

議員

近畿自動車道紀勢線の開通に向けた三点について質問します。地域の皆様が期待し悲願の道路であります近畿自動

車道紀勢線新宮市・大泊間事業化に向け着々と進んでいる状況を受け、これまでご尽力を頂きました町長をはじめ、地元選

出国会議員の皆様、関係機関の皆様、また河口に橋を架ける会をはじめとする各種団体の皆様には敬意を表したいと思えます。今後も早期事業化に更なるご尽力を賜りますようお願いを申し上げます。事業化が現実的になってきた現在、町長には開通に向けた本町の振興策については、どのようにお考えか、お伺いします。

町長

地域産業にとってもこの道路をいかに活用しながら産業振興を図っていくのか大きな課題であると思っています。また逆にこのチャンスを利用してはならないとも思っています。施策については、根本的に行政の役割分について地域と一体となって振興の取り組みをしっかりとサポートする体制をとっていきたいと思っています。実際の活動については、民間の知恵を拝借し、行動力を生かして、展開していくのが一番大事な事だと思っております。これから地域経済界の皆様と意見調整し

手を携え開通に向けた対応に取り組みたいと思っています。

企画調整課長

観光振興は、町の豊かな自然に加え、世界遺産登録の熊野川・御船島・七里御浜をはじめ、神内神社・平尾井薬師等の文化財が観光資源であり、これらの観光資源活用・魅力を生かし体験プログラムの開発・散策プランの作成など着地型観光の推進を図り町内に呼び込む施策を検討し、さらに近隣市町と連携した振興策検討が重要と考えています。またこれらに向けての受け入れ体制の整備等も考えています。産業振興は、生産圏域拡大や利便性の向上、営業・配送などビジネス行動範囲拡大が期待されています。また輸送の向上に伴い企業誘致の促進・地場産業の振興を考えています。また関係団体と連携し町の振興を図ってまいります。

集客対策

議員

2点目に入ります。今後、事業化が見込まれる新宮大泊

間の開通により交通体系が変化します。国道42号は、これまで通り地域住民の生活道路として活用されますが、紀勢線は中部また近畿圏からの乗り入れ客の利用が考えられる反面、本町が一通過地点になる可能性が高いと考えられます。一方国道42号線にあるウミガメ公園は、地元産農作物の販売が好調で農業振興の一役を担っていると考えております。特に農業は本町の基幹産業であり、今後本線の開通によりウミガメ公園への集客減少が憂慮される一方であります。農業振興の一端を担っていますウミガメ公園の集客対策については、今後どのように考えていくのかお伺いします。

企画調整課長

開通後の集客対策としては施設の魅力向上・機能拡大や充実を図り、地産地消を一層推進し当地域のスーパー的な機能の充実を図ることや、また町内には熊野古道・川舟下りをはじめ、最近注目されている井田観音などの観光資源を活用した集客力向上に向けた取り組みを推進してまいります。

議員

農業を取り巻く状況は政府が今月15日にPPP交渉参加を表明し、農業者は今後の農業経営に大変不安を抱えているのが現状であります。今後本線の開通を契機に地元産農産物販売拡大を農業振興策として、町内の本線にサービスエリアの建設とエリア内に広域生産者を対象とした販売施設の建設を提言しておきます。

庁舎移転

議員

3点目は、南海トラフ巨大地震発生に伴う被害想定発表があり被害は東日本の十倍と発表されました。改めて津波の怖さを再認識したところであります。東日本の惨事を参考に津波襲来時の本庁舎周辺に起こりうる事態が想像できるところであります。発災時、本庁舎が防災拠点施設の機能が果たせるかの観点から更なる安全安心の確保に向け緊急輸送路等の機能を有した高規格道路の本線隣接地へ庁舎移転を考えてはと思うが町長のお考えを伺います。

町長

ルートの詳細が出ていない中での答弁となりますが、災害発生時には三重県・和歌山県での相当の被災者数が発表されておりあります。発災時には避難が重要であり、避難路整備等を行い津波から回避出来る体制を取っていく事が大事です。庁舎は高台への建設が一番良いと思いますが、利便性等も考える必要があります。現庁舎に防災拠点施設を建設し最低限町民の生命を守ることが第一だと思っております。庁舎建設については、単独で建設をすることになってきます。特例債は、使えますが財政的に大きな負担となり、今後高速道路のルート決定等を踏まえ、皆様方と共に将来に向けた大きな課題として十分検討していく必要があると考えております。

議員

一番大きな問題は、財政的な問題であると思っておりますが、ぜひ長期的な展望に立って進めていただくよう要望します。



平野 美津子 議員

・被災者支援について
・宝寿園近くの災害土砂について

他

被災者支援

議員

浸水してしまつて、畳等の購入ができなく、まだ板の間の上にシート敷かれて、生活されていたり、精神的にも被災したときのトラウマ等で子供たちも夜中に飛び起きたり、そのような状況の中でも前向きに積極的に災害を乗り越えようとされています。そのことを私たち町民としても風化させてはいけないという思いで生活面の視点でご質問させていただきます。

家が流出された方の入居期間が9月まで、延びたというお話を聞きました。その狭間で、その借上げの対象から外れてしまった。本人はその対象にしていたかと思つて居るのですが、制度的なことを良く知らなかったことにより外れてしまった方がいます。

福祉課長

そのような大きな誤解が生じているということは、私はないと認識しております。

議員

お年寄りで身寄りもなく、制度等について、きつちり状況を認識できておりませんでした。「全て貯金がなくれば住宅扶助等を適用する」それは当然の話です。その方の生活状況とかの把握してないといけないと思ひます。その方の家賃は3万5千円なので、かなりの出費です。お家も全壊されていますし、チェックする機会が多々あったと思ひます。被災された方の立場に立てばいろんなところでチェックできたのに全て抜けてしまつています。共産党の赤旗という新聞の今年の1月26日付に「阪神の震災被害者

の希望者全員が伊丹市の借上げ住宅の入居延長へ。兵庫県、伊丹市」という記事が載つていました。

福祉課長

我々、常日頃から住民対応について、住民目線で対応させていただいております。しかし、いろんな誤解を生じる場合もあるかと思ひますので、更に精進して親切、丁寧に対応してまいりたいと思ひます。

議員

公費で支援できない人のため1千万円をこの紀宝町の被災者の方に寄付したいという方がおりましたが、義援金は受け取れないということでした。それで福祉課へ振込みだけを依頼しましたが断られました。前の福祉課長の答弁では義援金では被災者個人の利益になるので受け取れないから見舞金として受け取って災害復興に使うのが有効であるということであった。被災者を思いやる心を被災者の方に伝えられないような行政ではない。

議員

次の質問に移ります。集会所は修復できているが避難所はどうですか。

防災担当理事

下地地域、浅里地域については、避難所として、現集会所の建屋でやってきたい。避難場所については高台に整備を図らせていただきたいと考えております。

議員

浅里地域では生活のため今後対岸への架橋が必要ではないですか。

産業建設課長

新宮市への架橋につきましては、継続して三重県に要望活動を行っております。

災害土砂

議員

ゴミが表に出てきています。建設課のほうで、ふるいに掛けるようですが、宝寿園という老人施設の隣ですので、埃対策をお願いします。

産業建設課長

騒音、特にその粉塵対策については、しっかりとやっていきたいと思っております。

男女共同参画推進

議員

男女共同参画について、どのようにお考えですか。

総務担当理事

25年度管理職女性職員は、6名とする予定です。割合は、28.6%となる見込みです。

男女共同参画プランをもとに、さまざまな施策を決定する場に男女の意見を反映していくため、人材の養成に努めてまいります。

原子力発電所事故の対応

議員

災害時相互応援協定を結んだ中能登町の隣に志賀原発があります。事故が起こった時の対応はどうですか。

防災担当理事

原子力が稼働再開して、不幸にしてそういう事故が発生したという場合に、中能登町に被害が及ぶようなことがあれば、安全第一ということは申し上げるまでもございませぬ。安全性を確認した上で災害時相互応援協定に基づいて、応援要請があれば当然物

資、資機材等の提供、また職員等の派遣についても対応する必要がありますのではないかと思います。

議員

事故や地震というのは突発的におこる。対応策は、住民にも周知する必要もある。中能登町ともコミュニケーションを取りながら、やはり体制の確立が必要ではないですか。

防災担当理事

担当者同志のお話をさせていただくなかでは、近隣に原子力発電があるというお話は聞いておりますけれども、中能登町の詳細な考え方等については、お聞きしていません。

※この他に、特別参与の仕事について、児童生徒の学びの環境づくりについての質問がありました。

防災対策

議員

2月11日、チームイレブンのメンバーで福島県内の警戒区域内に入りましたが、改めてあの2011年3月11日のまま止まっている状況を見て、また避難生活をしている方々の思いに触れ、福島県の方々の失った物の大きさと、現在の世代で福島第一原発の廃炉への道筋や除染を進めていかなければいけない責任の大きさに触れることができました。東日本大震災や紀伊半



榎本 健治 議員

- ・防災対策について
- ・就労継続支援B型事業について
- ・大綱説明及び諸報告について

島大水害を経験して被災地の人員不足の問題があり、そこで専門職として紀宝町でも行政のプロである職員OBの方々と、大規模災害発生時に災害復旧業務をサポートしてもらおう協定を結んでいくことができなにか。

防災担当理事

人手不足等については、大震災等踏まえて必要なことであると認識をしています。当然、風水害と違っています。地震の場合につきましては職員も被災する確率が非常に高いことから、役場職員OBの登録制度の活用や、ご理解をいただけるのであれば自衛隊のOB、警察のOB、医療経験者など多方面においてご協力をいただきたいと思います。

議員

次に防災計画の見直しですが、国は太平洋に伸びる南海トラフでの巨大地震対策を検討する有識者会議を開き、新しい被害想定を公表しました。最大クラスでM9.1の地震が起きると、220兆3千億円の経済被害で、東日本大震災の10倍を超える規模であると発表されました。三重県の被害は最大で16兆9千億円で、県の総人口の

4割にあたる69万人が避難するとされており、県が2005年にまとめた地域防災計画被害想定調査報告書ではM8.7の東海、東南海、南海地震が三連動で発生した場合、県内の被害額が3兆円、避難者数も6万2千人になりました。防災計画について、改めて当地域の状況はどのように予想されますか。

防災担当理事

当町の被害想定は、県、国等が過去に発生した地震等を想定したなかで、数値が示されておりませんが、まだ市町等の想定数値については詳細に示されておりません。国で出された数値をもとに県が現在、各市町の被害状況の想定数値を25年中に出す作業を進めております。

議員

国の有識者会議のなかで発表されましたが、町の地域防災計画については、いつまでに見直しを完了させていくのか、道筋を教えてくださいたいと思います。

防災担当理事

地域防災計画の見直しにつきましては、できるだけ早い時期、25年度中に紀宝町の地域防災計画を見直し、それに

沿って来年度以降に、行動計画等の検討に入らせていただきたいと思えます。

就労継続支援B型事業

議員

一昨年オープンした福祉の店アプローチの現在の収支状況は一年を通してどのようになっていますか。

福祉課長

平成23年11月から福祉の店アプローチとして、オープンした就労継続支援B型事業ですが、収支状況は売上げが約7,600万円、月当たり約630万円。他に収入で、自立支援給付費が1,250万円、町助成金180万円等を合計しますと収入全体で9,090万円。次に、支出の方で仕入経費7,550万円、スタッフ等の人件費1,680万円、他事務費等と併せて、支出合計で9,250万円、差引致しますと160万円の赤字です。赤字分は、福祉センターで行っているアプローチ事業を含めた全体で欠損分について補っていく予定と聞いております。

議員

この就労支援B型事業では特に工賃倍増を目指しているというところが当初の契約でございました。工賃一日900円ということですけれども、当初の目標どおり工賃倍増をしっかりと取り組んでいたかと思えます。そこで25年度、移動販売や買い物支援を含めた25年度の事業取り組みや方向性は。

福祉課長

交通機関の利用が難しく、他に移動手段がないなど買い物に行くことが困難な方もお見えになり、解消に向け施策を講じることが喫緊の課題であります。福祉の店アプローチにおいて、24年度に搬送用の車両を購入し、25年度は在宅サービス検討委員会を立ち上げ協議していく予定です。

議員

移動販売や買い物支援について町長の見解はいかがですか。

町長

買い物支援については、地域の皆さま方にご支援をいただき、可能な部分については対応してまいりたいと思えます。

大綱説明・諸報告

議員

空き家情報登録制度の導入について、空き家情報登録制度、空き家バンク制度は大変有意義であり、私は平成22年度の9月の議会でも質問しました。耕作放棄地、休耕地が増えている現状で10年後、20年後をみたとときに、休耕地空き地情報バンクも合わせて開設できないかと思えますが。

産業建設課長

紀宝町全域には約660haの農地がございます。そのうちの約12%に当る、81haが台帳上遊休農地です。現在調査中のいわゆる利用可能な遊休農地を把握しながら、空き家登録制度とセットで、検討していければと思えます。

議員

さらに、明日を担う後継者を育てるために農業を指導する人材バンクも合わせて取り組んでいけないかと思えます。

※榎本議員の一般質問については、本人のホームページに掲載しています。
(<http://www.enomotokenji.com/ipan.htm>)



矢熊 達雄 議員

- ・機構改革
- ・平成23年台風12号災害の復旧
- ・地籍調査

機構改革

議員

機構改革は効率化を図るなどの使われ方をされているが、私は地域、時代にあった機構改革でなければならぬと思うが今議会において防災担当の特別参与設置を求める条例が可決されました。総務課防災係ではなく防災課の設置をして取り組みをすべきでは。

町長

防災、減災だけを考えれば防災減災課を設置すればいいが災害発生になれば多くの人が

員が必要になるので総務課で対応をしたい。

議員

発災後のことをではなく南海トラフでの地震が高い確率で起きる。それと平成二十三年発生の台風十二号災害この経験も踏まえて防災、減災の対策をしなければならぬと考えるが。

町長

防災計画等踏まえて組織改正とか状況を考え議論をして今後対応をしたい。

台風12号災害の復旧

議員

熊野川の河川激甚災害特別緊急事業の工事計画と進捗は。

産業建設課長

平成二十三年度から平成二十八年度までの六年間に緊急対策として現行の河川整備基本方針に基づき河道掘削、築堤等を行い台風一二号洪水における熊野川の氾濫による浸水被害を解消する内容です。堤防嵩上げは二三年度から二五年度末、河道掘削は二三年度

から二八年度末、橋梁の橋脚対策等については二五年度中旬から二六年度末までの計画と伺っている。施工状況等については熊野川の掘削砂利を井田海岸へ侵食対策などの目的に活用いただくよう要望を行い、二四年十月十一日試験施工を行い、熊野川の陸地部分の砂利を一部掘削し、井田海岸へ搬入して濁り等の試験をしている。二四年一月中旬より、河道の土質等を調査するため、河口から約三・二キロメートル地点までボーリング調査がされている。河道掘削工事と他二件掘削関係の工事については二四年三月八日に契約をしていますが、現在掘削土砂の搬出方法について関係者関係機関等と調整をしている。調整ができ次第、着手すると伺っている。今後の事業進捗については国と連携を取りながら工事の早期完成に向けやっていきたい。

議員

二年が過ぎた今計画通りに完成できるのか。

産業建設課長

関係者等との調整中ですが引き続き早期に着手していた

大きくお願いをしてまいりたい。

議員

平成二三年度から平成二八年度の六年間です。中、いまだに調整を待って要望をしていく、これだけでいいのか。

特別参与

進捗率が悪いが着々準備を進めている段階ですので国と十分協議をしてやっていきたい。

議員

この地域は熊野川本川の水位に左右されるので一日も早い完成をお願いしたい。県管理の熊野川はどうなっているのか。

特別参与

近畿整備局、三重県、奈良県、和歌山県と沿線の市町村及びダム管理者と連絡を強化して熊野川の総合的な治水対策を推進する会議もたれています。

議員

ダムについては熊野川本流と切っても切り離せない関係がある。以前より利水ダムを治水ダムに変換をとの要望をしていた。台風一二号災害後一年六ヶ月を過ぎた今、この問題が置き去りにされているのではないのか。

産業建設課長

新宮川水系のダム操作に関する技術検討会が二三年から二四年に開催された。ダム運用の改善について更なる洪水被害への軽減に努めると技術検討会に求められており平成二四年の出水期より暫定運用をしています。今後治水対策、洪水対策の一つとして国土交通省に対しても多目的ダムへの転用について要望をしてみたい。

議員

要望だけでいいのか、今の地域が一体となって力を合わせて取り組まなければ。

町長

治水対策をできるダムに切り換えていただくよう地域の皆様方の思い、町民の方々の安全、安心の向上のため最大の行動をしてみたい。

地籍調査

議員

進捗と今後の計画は。

産業建設課長

進捗については当町の全体面積七九・六六平方キロメートルから、公有水面等を除い

た七三・二五平方キロメートルを対象面積とし平成二四年四月現在五・四九平方キロメートルの進捗です。今後については筆界未定地や様々な課題等に関し地権者との調整を進めながら未完了の解消に努めてまいりたい。

議員

完結年度は。

産業建設課長

完結年度についてはもっていません。

議員

地籍調査は国の根幹であり地方自治体にとっても基本になるもの。執行者のやる気の問題と考えるが。

町長

鋭意努力をしていきたい。

議員

プロジェクトチームを組み色々な手法を排除せず強い気持ちを持ち進捗を図っていただきたい。

政策担当理事

より効果的な手法があると思うので担当課とも議論をし、進めてまいりたい。

次回定例会の予定

6月18日（火）開会予定です。
傍聴は議会事務局で受付ています。

議会生中継について

公共施設5ヶ所のロビー等において、町議会本会議の模様を生中継していますので、議会日程をご確認のうえ、ぜひご覧ください。

- ① 役場本庁舎
- ② 生涯学習センターまなびの郷
- ③ 福祉センター（鶉殿）
- ④ 保健センター（神内）
- ⑤ 相野谷診療所

※放映時間については、当該施設開館時間内となりますので、ご了承ください。

インターネット録画中継について

町議会では開かれた議会を目指して、平成23年6月定例会分からインターネットによる録画中継を実施しております。映像をご覧頂くには、

◎紀宝町ホームページ↓「町議会情報」↓「インターネット議会中継」をクリック

可決された議案（3月）

- 公平委員会委員の選任同意
・ 公平委員に畦越進さん（鶉殿）の選任に同意しました。
- 教育委員会委員の任命同意
・ 教育委員に廣田とも子さん（井田）の任命に同意しました。
- 紀宝町特別参与の設置に関する条例の一部改正
- 紀宝町税条例の一部改正
- 紀宝町国民健康保険税条例の一部改正
- 紀宝町福祉医療費の助成に関する条例の一部改正
- 建物収去土地明渡等請求事件の和解
- 工事請負契約の変更（波静橋架替工事その1）
- 平成24年度一般会計補正予算（第7号・第8号）
- 平成24年度特別会計補正予算（5会計）
- 平成25年度一般会計予算
- 平成25年度特別会計予算（6会計）
- 紀宝町道路法施行条例の制定（外4件）
- 紀宝町津本防災センター条例の制定（外1件）
- 紀宝町議会の議員その他非常勤職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正（外1件）
- 紀宝町津本防災センターの指定管理者の指定（外1件）
- 紀南病院組合規約の変更に関する協議（外3件）
- 工事請負契約の変更（林道桐原浅里線2・3・4号箇所災害復旧工事）（外1件）

決議（3月）

- 北朝鮮の地下核実験に抗議する決議

編集後記

今年もまた新しい春がやってきた。真新しいランドセルを背負って満面に笑みを浮かべ嬉しそうに通学する新1年生を見かけるとつい楽しくなる。しかし今年の入学生は鶉殿小40名、成川小10名、井田小23名、神内小14名、相野谷小4名、合計91名で昨年より9名の減少となったのはやはり寂しさを隠しきれない気持ちになる。一方農家では台風や洪水、地震などの被害もなく安心してコメ作りを祈りつつ田植えが始まっている。TPP交渉参加をめぐる「いつまでコメ作りができるのか」と不安の声も各地で聞かれる。世論調査でも賛否が大きく分かれ夏の参院選の争点となりそうだ。3月5日から始まった紀宝町第一回定例会では10名の議員が一般質問で防災、教育、子育て支援、雇用、農業問題など町の姿勢を質した。台風12号災害からの教訓をどこまで生かし、今後の復興に向け、若者やお年寄りが安心して暮らせる町づくりを進めていくのか、私たちに課せられた1年の始まりでもあるように思う。（文責 原）

「議会だより」（第26号）

編集委員 原 章三

庄司 健

向井 健雅

